trr2nc

概要

Gromacs のトラジェクトリファイルを Amber のトラジェクトリファイルに変換するプログラム

使用方法

- \$ trr2nc.py [-h] -s INPUT.tpr -x INPUT.<nc|mdcrd|xtc> -t INPUT.top -p OUTPUT.prmtop [-sc
 TEMP_DIR] [--separate-mol MOL_NAME [MOL_NAME ...]] [-b
 START_TIME] [-e END_TIME] [--offset OFFSET] [-mc
 CENTER MASK] [-ms STRIP MASK] [-0]
 - Basic options:
 - -h, --helpヘルプメッセージを表示して終了する。
 - ・ -s INPUT.tpr Gromacs の .tpr ファイル (Input)
 - -x INPUT.<trr | xtc | gro>Gromacs のトラジェクトリファイル (Input)
 - o -o OUTPUT.<nc|mdcrd|xtc>Amber のトラジェクトリファイル (Output)
 - -t INPUT.topGromacs のトポロジーファイル (Input)
 - -p OUTPUT.prmtopAmber のトポロジーファイル (Output)
 - -sc TEMP_DIR一時ファイルを置くためのディレクトリ (Default: カレントディレクトリ)
 - --separate-mol MOL_NAME [MOL_NAME ...].top ファイル内の[molecules]の分子を1つずつ分割するための分子名(周期境界条件対策)

プロンプトを出さずに上書きする。

- Gromacs option:
 - ∘ -b START_TIME

読み込み開始フレームインデックス (start from 0)

∘ -e END TIME

読み込み終了フレームインデックス (start from 0)

--offset OFFSET

出力するフレームの間隔 (Default: 1)

- cpptraj option:
 - -mc CENTER_MASK

トラジェクトリの中心に配置する原子群の Ambermask

∘ -ms STRIP MASK

トラジェクトリから削除する原子群の Ambermask

動作要件

- Python3
 - o netCDF4
 - numpy
 - parmed
 - o termcolor
 - tqdm

License

This software is released under the MIT License, see LICENSE.

Authors

• Tatsuya Ohyama

ChangeLog

- Ver. 17.10 (2021-10-12)
 - AmberTools 17 以降のインストール環境で、.xtc ファイルの出力および中間ファイルとして .xtc ファイルを出力するようにした。
 - o 使用モジュールを整理した。
- Ver. 17.9 (2021-07-14)
 - o モジュール内のスタイルも PEP8 スタイルに変更した。

- Ver. 17.8 (2021-07-14)
 - 。 PEP8 スタイルに変更した。
 - o mercurial から git に変更した。
 - 。 README.md を追加した。